



VERITAS™

Backup Exec  
データライフサイクル管理 (DLM)

2024年9月

ベリタステクノロジーズ合同会社

# Backup Execのデータライフサイクル管理(DLM)とは

- データライフサイクル管理 (DLM)は、ディスクストレージのバックアップデータを管理する機能
- ディスクストレージへ保存されたバックアップデータはデータライフサイクルマネジメント (DLM) によって管理される
- バックアップデータは、指定した保持期限が過ぎてかつ、いくつかの条件を満たした場合、自動的に削除される
- テープデバイスには「メディアセット」という管理の仕組みを利用するため、DLMはテープデバイスには適用されない
- RDXのディスクカートリッジは「ディスクストレージ」の部類に入るため、DLMによってバックアップデータが管理される

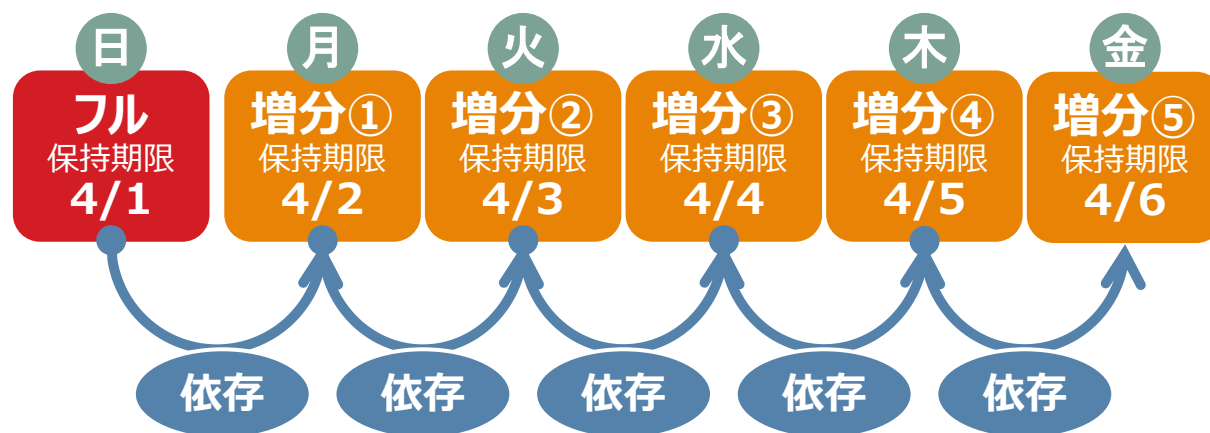
# Backup Execのデータライフサイクル管理(DLM)とは

- DLMはディスクストレージに保存されたバックアップデータの管理を一定の間隔毎に自動的に行う
- バックアップデータは、DLMが動作する間隔（デフォルトでは1時間に1回）または、バックアップ先の空き容量が、指定したしきい値より低下した場合に削除される可能性がある
- バックアップデータは以下の条件を満たした場合にのみ削除される
  - 保持期限が切れている
  - 最後のバックアップデータではない
  - 保持するように設定されていない
  - 依存関係にある全てのバックアップデータの保持期限が切れているもしくは保持するように設定されていない
- バックアップデータの依存関係は次の通り
  - フルバックアップ→自分自身
  - 増分バックアップ→前回のバックアップ（フルバックアップまたは増分バックアップ）
  - 差分バックアップ→直前のフルバックアップ

※ただし、バックアップデータのコピー（複製）が存在し、保持期限切れでない場合には、依存関係は成立しない

# ディスクストレージ利用時のバックアップデータの管理について

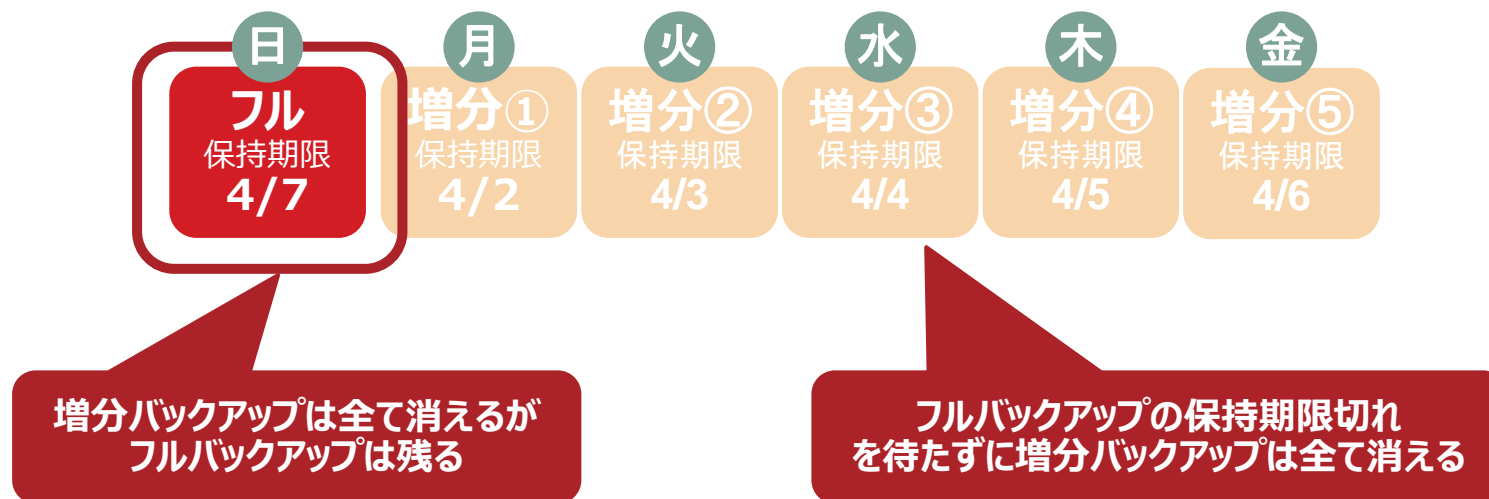
- バックアップデータの削除の動作イメージ①
  - 依存関係にあるバックアップデータが全て保持期限切れにならない限り、削除されない



- このケースでは、全ての増分バックアップの保持期限が切れるまでフルバックアップデータや増分バックアップデータは削除されない

# ディスクストレージ利用時のバックアップデータの管理について

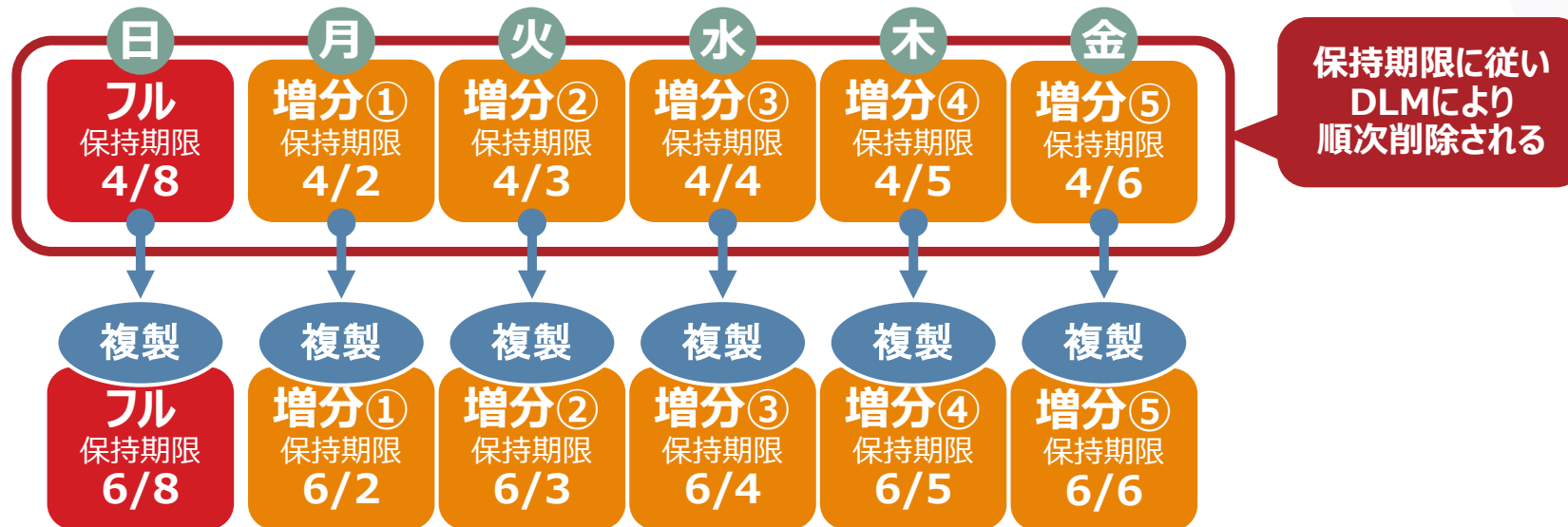
- バックアップデータの削除の動作イメージ②
  - フルバックアップの保持期限が増分バックアップよりも長い場合には保持期限が切れた増分バックアップだけが削除される



- このケースでは、フルバックアップの保持期限切れを待たずに全ての増分バックアップが削除される

# ディスクストレージ利用時のバックアップデータの管理について

- バックアップデータの削除の動作イメージ③
  - バックアップデータが複製されており、他に存在する場合には依存関係は発生しません



- このケースでは、バックアップデータの複製があるので複製元のバックアップデータは保持期限が過ぎると順次削除される

# ディスクストレージ利用時のバックアップデータの管理について

- バックアップデータの削除の動作イメージ④
  - 保持期限が過ぎても、他にバックアップデータが存在しない場合には削除されずに残る



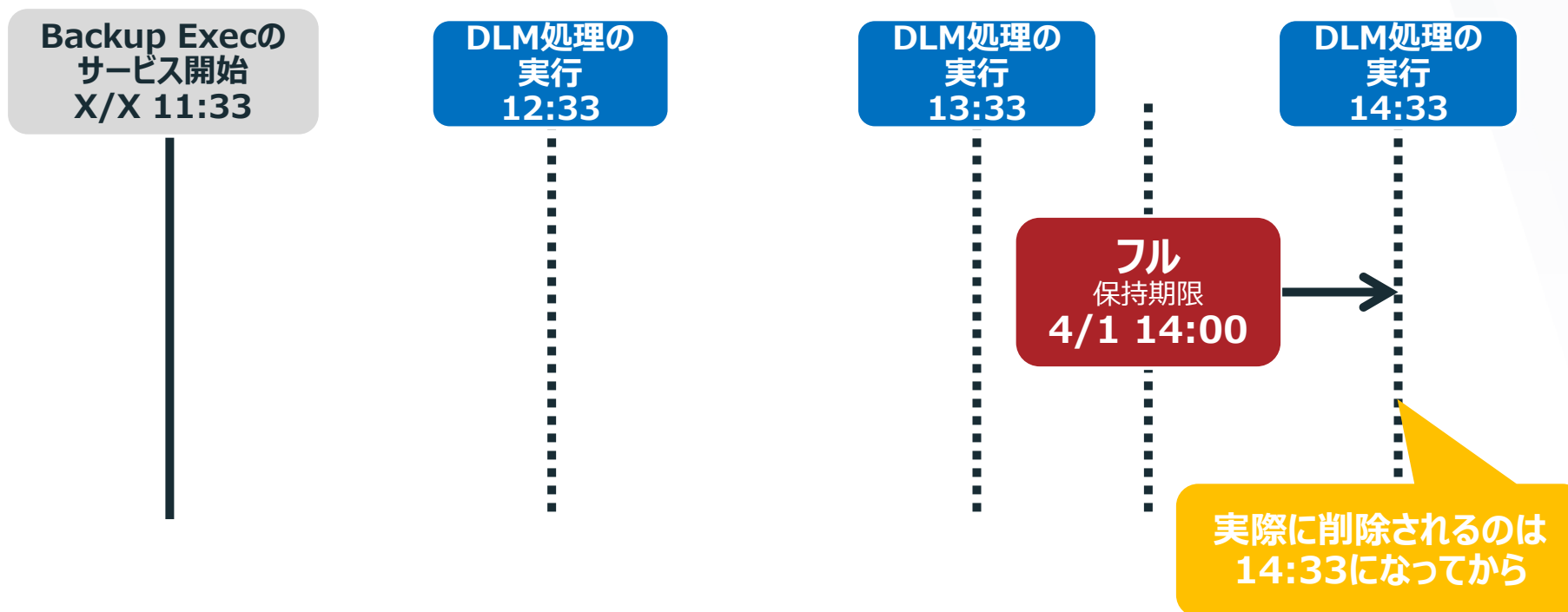
- 保持期限が過ぎても、それがバックアップ先に残る最後のひとつのバックアップデータの場合にはDLMにより削除されない

# バックアップデータ削除のタイミングについて

- 保持期限が切れ、条件を満たした場合には1時間毎に実行されるDLMの処理によりバックアップデータが削除される
- 1時間毎はBackup Execのサービス開始から計算される。4時、8時、12時といったように、特定の時刻には実行されない
- また、この1時間の中に、パッチの適用などで、Backup Exec関連のサービスを再起動させた場合には、再起動後から1時間後に処理が実行されるようリセットされる

# バックアップデータ削除のタイミングについて

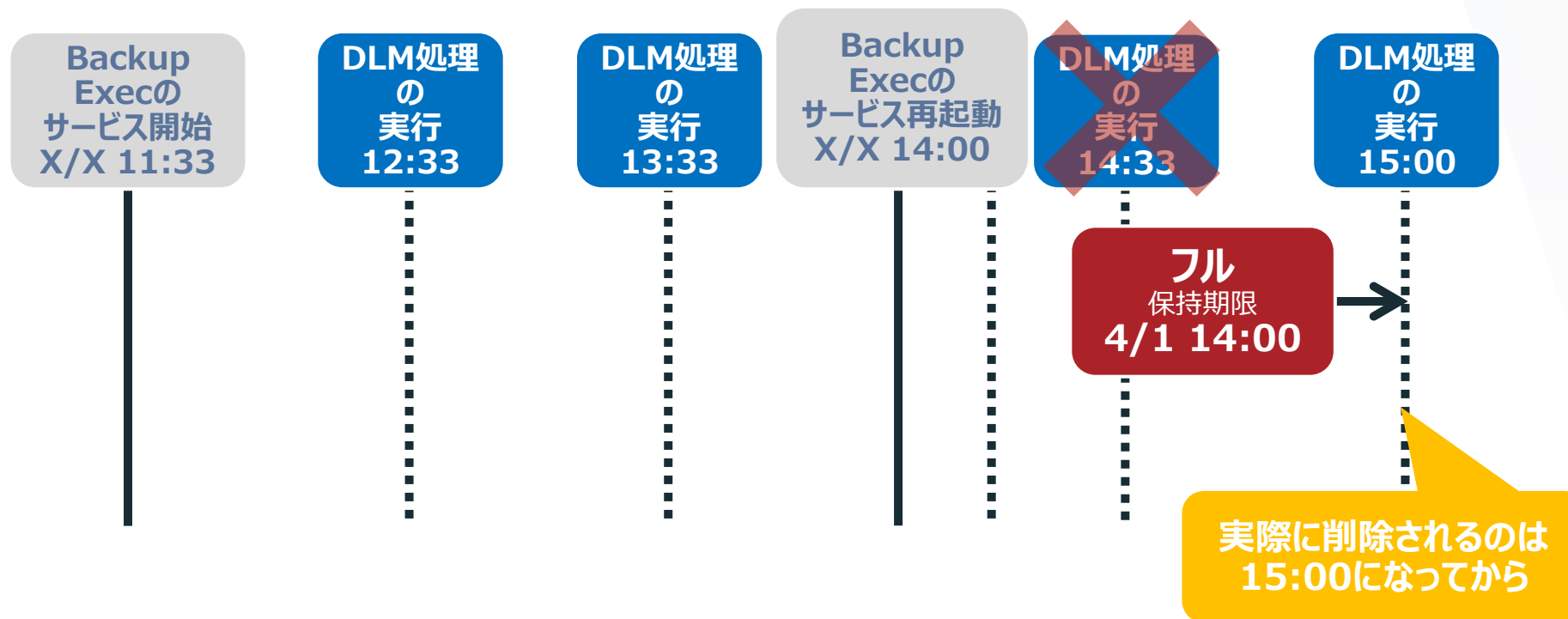
- バックアップデータ削除のタイミングのイメージ



- 保持期限が過ぎても、DLMが実行されるまではバックアップデータは削除されない

# バックアップデータ削除のタイミングについて

- バックアップデータ削除のタイミングのイメージ



- Backup Execのサービスの再起動を行った場合、DLMの実行タイミングも再計算される

## ディスクにバックアップを取得する際のバックアップデータの容量のサイジングについて

- バックアップデータの作成と削除が異なるタイミングで行われる為、バックアップデータの削除のタイミングによっては保存したい世代数分の容量に加えて、バックアップ世代1つ分のディスク容量が必要になる可能性がある

# バックアップデータ削除のタイミングについて

- ディスクにバックアップを取得する際のバックアップデータの容量例 1/4

<週次：フルバックアップ 平日：増分バックアップ 保持期限：14日>



# バックアップデータ削除のタイミングについて

- ディスクにバックアップを取得する際のバックアップデータの容量例 2/4

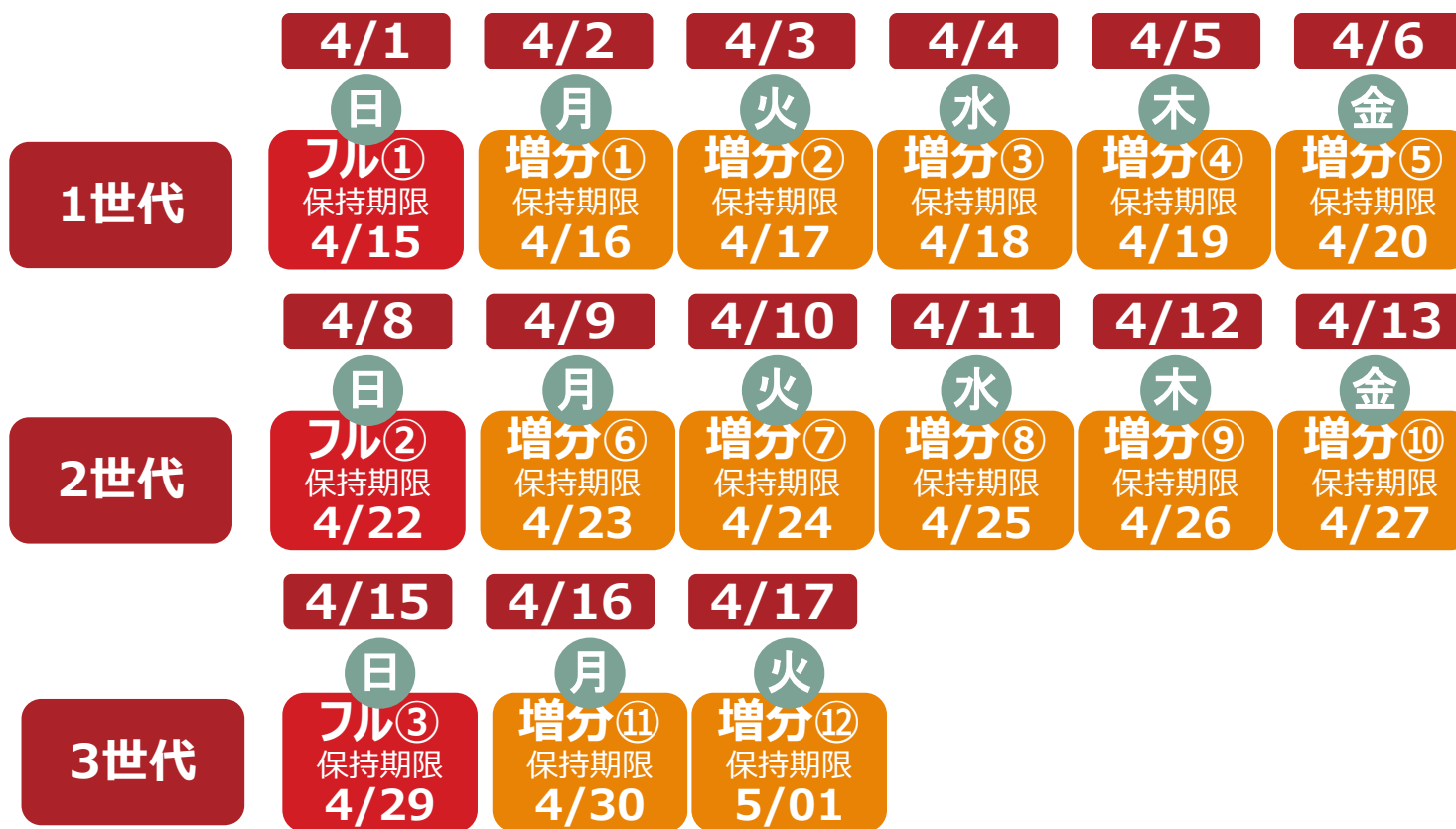
〈週次：フルバックアップ 平日：増分バックアップ 保持期限：14日〉

	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6
	日	月	火	水	木	金
1世代	フル① 保持期限 4/15	増分① 保持期限 4/16	増分② 保持期限 4/17	増分③ 保持期限 4/18	増分④ 保持期限 4/19	増分⑤ 保持期限 4/20
	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13
	日	月	火	水	木	金
2世代	フル② 保持期限 4/22	増分⑥ 保持期限 4/23	増分⑦ 保持期限 4/24	増分⑧ 保持期限 4/25	増分⑨ 保持期限 4/26	増分⑩ 保持期限 4/27

# バックアップデータ削除のタイミングについて

- ディスクにバックアップを取得する際のバックアップデータの容量例 3/4

＜週次：フルバックアップ 平日：増分バックアップ 保持期限：14日＞



1世代目は  
依存関係により  
まだ消えない

# バックアップデータ削除のタイミングについて

- ディスクにバックアップを取得する際のバックアップデータの容量例 4/4

<週次：フルバックアップ 平日：増分バックアップ 保持期限：14日>



最後の増分が期限切れとなったため(4/20)、この世代のバックアップはすべて削除される

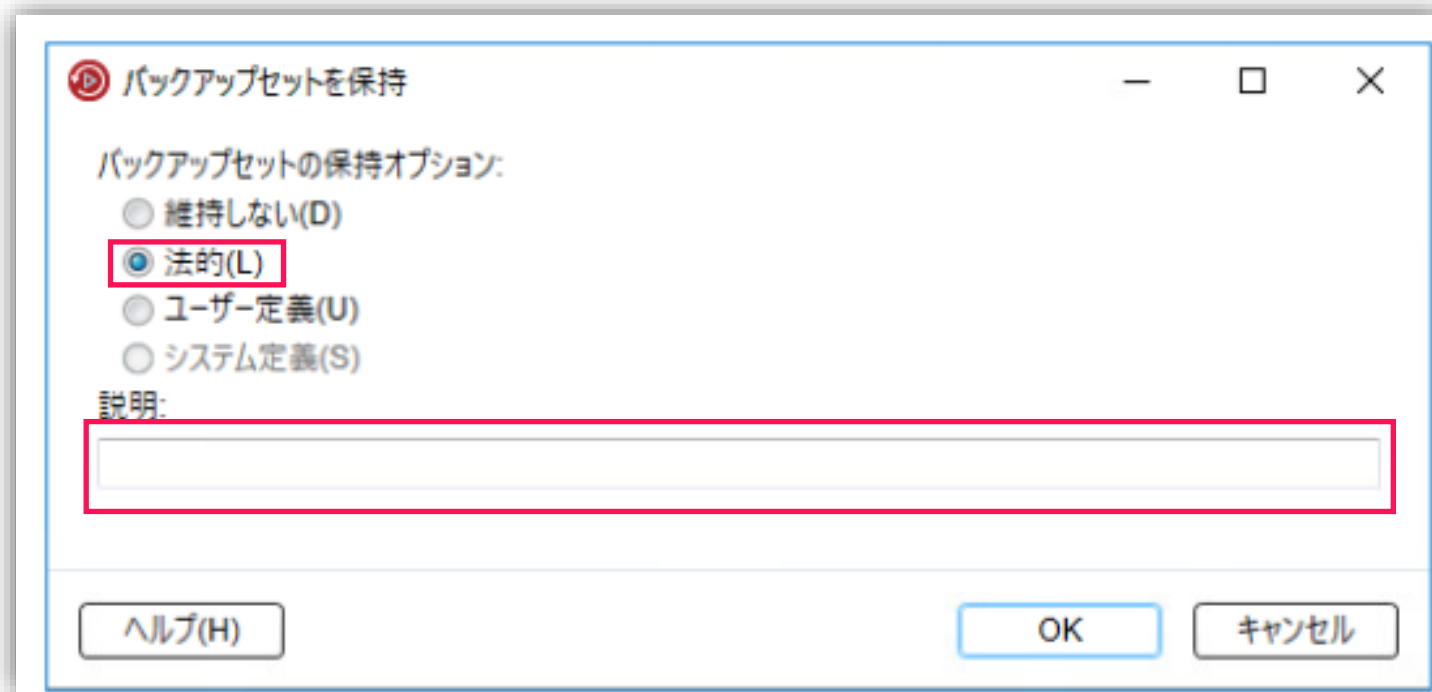
# バックアップデータ削除のタイミングについて

- 任意のバックアップデータを「保持」と設定することで保持期限が過ぎてもDLMによりバックアップデータが削除されないようにすることが可能
- 保持に設定したいバックアップセットを選択後、右クリックのメニュー、もしくは、管理コンソール上部より「保持」アイコンをクリックする



# バックアップデータ削除のタイミングについて

- 保持設定を行う際には、「法的」または「ユーザー定義」のどちらかを選択する必要がある
- 説明欄に任意で保持の理由などを記入することが可能
- 保持するよう設定した場合、依存関係にあるバックアップデータも削除されなくなる





VERITAS™



ありがとうございました

Copyright © 2024 Veritas Technologies, LLC. All rights reserved.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.



VERITAS